

自己を見つめ、よりよい生き方について考える  
中学校道徳科の授業展開  
—生徒が問題意識を持つための導入の工夫を通して—

長期研修員 土屋 真美

研究構想図

自己を見つめ、よりよい生き方を考える生徒



終末

展開  
後段

展開  
前段

導入

解決策を考え、吟味する

問題に対する納得できる  
答えを見いだす

学習形態の工夫  
発問の工夫

道徳的価値の理解を深める

問題の解決に結び付く  
道徳的価値について考える

問題意識

問題を見付ける

生活経験や資料の  
問題場面と既存の  
道徳的価値を比べ  
**問題意識**を持つ

生活  
経験

資料の  
問題  
場面

道徳的  
価値

道徳的価値の理解



教師の願い

生徒に自分事として道徳的価値  
の理解を深めてほしい。



生徒の実態

問題意識を持ち、自分事として  
考えることが少ない。

「挨拶の大切さ」

B-(7)礼儀

「自分の中にある弱さと強さ」

D-(22)よりよく生きる喜び

問題を見付ける

生活経験からの導入

資料からの導入

生活経験を振り返る

資料から問題場面を見付ける

生活経験と既存の道徳的価値を比べ、ズレに気付く

問題場面と既存の道徳的価値を比べ、ズレに気付く

問題意識

問題意識

切実感が高まる

挨拶することの意義を  
考えて挨拶できるようにしたいな

どうしたら誘惑に負けず  
に正しい行動がとれるのかな

道徳的価値の理解を深める

問題の解決に結び付く道徳的価値について考える

挨拶するとお互い良い気持ちになるし、雰囲気も良くなるんだな

正しい行動がとれなくて、ずっと後悔してしまうのは嫌だな

解決策を考え、吟味する

問題に対する納得できる答えを見いだす

相手のことを考えて、時と場に応じた挨拶ができるようにしよう

後悔しないように、自分と向き合い、考えて行動していこう

成果

導入で問題意識を持ち、切実感が高まることで、自分のこととして主体的によりよい生き方を考えた。

課題

解決策を考える際に、多様な考えを引き出すことができるよう問題意識を想起させる発問を工夫する。

提言

導入を工夫し、生徒が問題意識を持ち続けることで、自分なりの納得解を見いだしていく授業展開を構想・実践しましょう。